

平成25年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成25年5月14日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 ジェクシード
 コード番号 3719 URL <http://www.gexeed.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 管理本部長
 四半期報告書提出予定日 平成25年5月15日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 細井 一雄
 (氏名) 佐伯 正勝

TEL 03-5456-3051

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年12月期第1四半期の業績(平成25年1月1日～平成25年3月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|--------------|-----|---|------|---|------|---|--------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 25年12月期第1四半期 | 339 | — | 6 | — | 2 | — | 1 | — |
| 24年12月期第1四半期 | — | — | — | — | — | — | — | — |

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|--------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 25年12月期第1四半期 | 0.15 | — |
| 24年12月期第1四半期 | — | — |

(注)平成24年12月期第1四半期は連結業績を開示していましたが、平成25年12月期第1四半期より非連結での業績を開示しております。そのため、平成24年第1四半期の経営成績(累計)及前年同四半期増減率については記載しておりません。潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|--------------|-----|-----|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 25年12月期第1四半期 | 584 | 74 | 12.5 |
| 24年12月期 | 592 | 71 | 12.1 |

(参考) 自己資本 25年12月期第1四半期 72百万円 24年12月期 71百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|-------------|--------|--------|--------|------|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 24年12月期 | — | 0.00 | — | 0.00 | 0.00 |
| 25年12月期 | — | — | — | — | — |
| 25年12月期(予想) | — | 0.00 | — | 0.00 | 0.00 |

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年12月期の業績予想(平成25年1月1日～平成25年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|-----------|-------|-------|------|---|------|---|-------|---|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 第2四半期(累計) | 743 | △12.8 | 17 | — | 12 | — | 7 | — | 0.75 |
| 通期 | 1,600 | 1.1 | 88 | — | 79 | — | 61 | — | 7.32 |

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

| | | | |
|-----------|-------------|-----------|-------------|
| 25年12月期1Q | 9,291,245 株 | 24年12月期 | 9,291,245 株 |
| 25年12月期1Q | 236 株 | 24年12月期 | 236 株 |
| 25年12月期1Q | 9,291,009 株 | 24年12月期1Q | 9,055,715 株 |

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

平成25年2月14日にお知らせいたしましたとおり、連結子会社であった株式会社レイズキャピタルマネジメントは解散手続を行っております。また、株式会社ジェクシード・テクノロジー・ソリューションズは従業員を株式会社ジェクシードへ転籍させており営業活動を行っておりません。これにより当企業集団の財政状態及び経営成績の状況に関する合理的な判断を妨げない程度に重要性が乏しいものとして、連結の範囲から除外しております。その結果、平成25年12月期第1四半期決算短信より非連結となっております。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する定性的情報 | 2 |
| (2) 財政状態に関する定性的情報 | 2 |
| (3) 業績予想に関する定性的情報 | 2 |
| 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 | 3 |
| (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 | 3 |
| (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 | 3 |
| 3. 継続企業の前提に関する重要事象等 | 3 |
| 4. 四半期財務諸表 | 4 |
| (1) 四半期貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期損益計算書 | 6 |
| 第1四半期累計期間 | 6 |
| (3) 継続企業の前提に関する注記 | 7 |
| (4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 | 7 |
| (5) セグメント情報等 | 7 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期累計期間における我が国経済は、年明けよりアベノミクス経済効果による円安、株高等の景気浮揚現象により、一部好決算企業があるものの、まだ全体としては实体经济の回復は緩やかな回復の兆しの途上であり、依然として欧州の金融危機に端を発した世界経済の不安定感により、先行きの不透明感を払拭するには至らない状況で推移いたしました。

このような経済環境の中、コンサルティング事業の基盤強化を目指し、新たなコンサルティングメニューのビジネス化に注力すると共に、トータルコンサルティングの実現に向けたプロジェクト再編、新規優良案件の創出に注力し、一方で大幅な業務の効率化及び合理化に取り組んでまいりました。

また、前連結会計年度に採算性が低いプロジェクトの終焉を図り、採算性の低い事業からの撤退、費用構造の抜本的な改革等を行った事により、当第1四半期は前連結会計年度の第4四半期に続き、更なる黒字基盤の安定化を増進することができました。

各サービスにおける概況は以下のとおりです。

ERPを中心とするシステムコンサルティング分野においては、サービスメニューの多様性、多角性を活かし、一層の機能の差別化を図りプロジェクトの新規案件の獲得に邁進してまいりました。当第1四半期累計期間においては積極的に新規顧客の開拓、既存顧客の掘り起こしを行った結果、優良案件は相当数増えつつあり、業績を大きく牽引することができる途上に着くことができました。

ビジネスコンサルティング分野では、人事領域を中心とした制度設計、人財育成分野でのコンサルティングと内部統制コンサルティング分野が堅調に推移しました。各サービスラインにおいて、財務・会計・人事・ITの専門知識を付加価値としたソリューションの提供により、顧客企業からの信頼を得て着実に業績の回復を図ることができました。

また、ビジネスの柱の一つとして昨年立上げ始めたeマーケティング関連のコンサルティングが今期に入って引き合いが急速に増えており、ビッグデータ解析の業務も、顧客から高い評価を得られております。

リスク管理及び情報活用に係るシステムのコンサルティングサービスでは、提案活動を継続して実施しております。

これらの結果、当第1四半期累計期間の業績につきましては、売上高 339,480千円、営業利益6,001千円、経常利益2,338千円、四半期純利益1,393千円となりました。

なお、平成25年12月期第1四半期累計期間より連結財務諸表を作成していないため、前年同四半期累計期間との比較分析は行っておりません。

(2) 財政状態に関する定性的情報

総資産は、前事業年度（以下「前期」という）末と比べ8,485千円減少し、584,424千円となりました。

流動資産は、前期末に比べ、3,740千円増加し、487,083千円となりました。これは主に売掛金の増加、仕掛品の減少によるものであります。

固定資産は、前期末に比べ、12,226千円減少し、97,341千円となりました。これは主に投資その他の資産の減少によるものであります。

負債合計は、前期末に比べ、11,254千円減少し、510,147千円となりました。

流動負債は、前期末に比べ、2,738千円減少し、373,963千円となりました。これは主に、買掛金の増加及び賞与引当金の減少によるものであります。

固定負債は、前期末に比べ、8,515千円減少し、136,184千円となりました。これは主に、長期借入金の減少によるものであります。

純資産合計は、前期末に比べて2,768千円増加し、74,276千円となりました。これは主に、利益剰余金の増加によるものであります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

当事業年度（平成25年12月期）の業績予想につきましては、本日発表いたしました「非連結決算への移行及び平成25年12月期個別業績予想に関するお知らせ」に記載のとおり、平成25年12月期第1四半期決算より非連結決算へ移行することに伴い、連結業績予想から個別業績予想に変更しております。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区分することが困難な会計方針の変更）

当社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期会計期間より、平成25年1月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、これによる当第1四半期累計期間の営業利益、経常利益及び税引前四半期純利益に与える影響はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

当社は、前連結会計年度まで連続して営業損失を計上しており、当第1四半期累計期間において営業利益、経常利益および四半期純利益を計上しているものの、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が存在していると考えられます。

当社は、当該状況を解消すべく、前連結会計年度において既存の事業を抜本的に見直し、100%子会社の吸収合併による組織再編に始まり、不採算事業からの撤退及び不採算プロジェクトの終息を図り、機動的な意思決定が可能となるよう現行の組織体制を変更し、人員を収益性の高い事業に集中いたしました。

その結果、前連結会計年度における四半期ごとの業績の推移にみられるように、業績を回復させることに成功し、第4四半期では営業損益を黒字に転じることができました。当第1四半期累計期間では上記施策を継続し、加速化した結果、営業損益の黒字が増加し経常利益、四半期純利益共に黒字化を達成することができました。

以上のとおり、安定的な収益構造への転換は着実に進んでおり、かかる状況より継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないものと判断しております。

4. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

| | 前事業年度 (平成24年12月31日) | 当第1四半期会計期間 (平成25年3月31日) |
|---------------|------------------------|----------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 199,957 | 184,740 |
| 売掛金 | 169,310 | 248,820 |
| 商品 | 5,753 | 5,753 |
| 仕掛品 | 41,160 | 9,287 |
| その他 | 68,178 | 39,972 |
| 貸倒引当金 | △1,017 | △1,492 |
| 流動資産合計 | 483,342 | 487,083 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | 14,527 | 13,581 |
| 無形固定資産 | 38,874 | 36,345 |
| 投資その他の資産 | | |
| その他 | 134,683 | 91,855 |
| 貸倒引当金 | △78,517 | △44,440 |
| 投資その他の資産合計 | 56,166 | 47,414 |
| 固定資産合計 | 109,567 | 97,341 |
| 資産合計 | 592,910 | 584,424 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 39,088 | 46,639 |
| 短期借入金 | 227,000 | 227,000 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 28,992 | 29,492 |
| 未払法人税等 | 4,012 | 2,074 |
| 賞与引当金 | 4,250 | — |
| その他 | 73,358 | 68,758 |
| 流動負債合計 | 376,701 | 373,963 |
| 固定負債 | | |
| 転換社債型新株予約権付社債 | 70,000 | 70,000 |
| 長期借入金 | 60,531 | 52,783 |
| 退職給付引当金 | 14,168 | 13,401 |
| 固定負債合計 | 144,699 | 136,184 |
| 負債合計 | 521,401 | 510,147 |

(単位：千円)

| | 前事業年度 (平成24年12月31日) | 当第1四半期会計期間 (平成25年3月31日) |
|---------|------------------------|----------------------------|
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 788,663 | 788,663 |
| 資本剰余金 | 975,093 | 975,093 |
| 利益剰余金 | △1,692,219 | △1,690,813 |
| 自己株式 | △28 | △28 |
| 株主資本合計 | 71,508 | 72,914 |
| 新株予約権 | — | 1,362 |
| 純資産合計 | 71,508 | 74,276 |
| 負債純資産合計 | 592,910 | 584,424 |

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

| | 当第1四半期累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年3月31日) |
|--------------|---|
| 売上高 | |
| コンサルティング収入 | 338,756 |
| その他の売上高 | 723 |
| 売上高合計 | 339,480 |
| 売上原価 | |
| コンサルティング売上原価 | 246,427 |
| その他の原価 | 584 |
| 売上原価合計 | 247,012 |
| 売上総利益 | 92,468 |
| 販売費及び一般管理費 | 86,467 |
| 営業利益 | 6,001 |
| 営業外収益 | |
| 受取利息 | 17 |
| 営業外収益合計 | 17 |
| 営業外費用 | |
| 支払利息 | 3,445 |
| その他 | 234 |
| 営業外費用合計 | 3,680 |
| 経常利益 | 2,338 |
| 税引前四半期純利益 | 2,338 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 945 |
| 法人税等合計 | 945 |
| 四半期純利益 | 1,393 |

(3) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報等
当社は、コンサルティング事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。